

第1回新中間処理施設整備検討有識者会議概要

1 開催概要

開催日時等

日時 平成30年8月17日(金) 13時～

会場 くりりんセンター 2階 研修室

出席委員

辻 修(座長) 国立大学法人 帯広畜産大学 教授
東條 安匡 国立大学法人 北海道大学大学院 准教授
吉田 英樹 国立大学法人 室蘭工業大学大学院 准教授
濱田 雅巳 公益社団法人 全国都市清掃会議 技術部長

2 報告事項

ごみ処理の現況

- ・ 現施設の規模(焼却処理施設、大型・不燃ごみ処理施設、廃棄物発電施設)
- ・ 構成市町村人口(1市6町2村)と中間処理量の推移(平成45年度までの実績と推計)
- ・ 搬入・搬出車両台数(現在の混雑状況も含めて報告)
- ・ くりりんセンター等長期包括的運転維持管理業務の範囲

今後のごみ処理量の変動要素

- ・ ごみ共同処理加入市町村数(13市町村(※)及び管内全市町村のケースでの中間処理量の推計)
(※)現在、共同処理を行っている9市町村に加え、清水町、本別町、足寄町、陸別町を加えたものです。
- ・ 下水汚泥の混焼(現在の処理状況及び混焼する場合の焼却施設への影響)
- ・ 廃プラスチックの混焼(現在の処理状況及び今後の方向)

新施設整備に係るこれまでの経過

- ・ ごみ処理基本計画の策定(平成28年2月)
- ・ 一般廃棄物中間処理施設整備検討業務報告及び新中間処理施設の整備方針決定(平成29年2月)
- ・ 昨年度の新中間処理施設整備検討会議の検討結果(概要)
 - (1) 処理方式について(3Rの推進、廃プラスチックからのエネルギー回収、収集運搬から最終処分までのトータルコスト、二酸化炭素排出量削減などのバランスを踏まえた検討を進める。)
 - (2) 建設候補地について(処理方式や施設機能も踏まえ、評価項目を詳細に設定し検討を進め、2つの地区から建設候補地を選定する。)
 - (3) 環境規制について(建設候補地の周辺環境などを総合的に勘案し、環境負荷の低減も含め、構成市町村の財政負担、他自治体の動向等を踏まえ、自主基準の必要性も含めて検討する。)
 - (4) 事業方式について(他自治体の事例や循環型社会形成推進交付金及び起債の活用を総合的に勘案の上、DBO方式とBTO方式に重点を置いて検討する。)

3 協議事項

処理方式選定のための基準

- ・ 処理方式の検討(想定する施設規模及び検討対象とする処理方式の選定等)
- ・ 検討対象とする処理方式の評価項目と配点(国の方針及び評価項目の考え方等)

建設候補地選定のための評価項目設定

- ・ 建設候補地絞り込み経過及び概要
- ・ 今後の進め方(評価項目設定の基本的な考え方及び想定される評価項目)

環境保全目標の設定

- ・ 現行の法基準及び現施設の公害防止基準
- ・ 他自治体の自主基準設定状況の調査(今後の調査項目のイメージ)

4 次回会議内容等

開催予定日時等

日時 平成30年9月25日(火) 14時～

会場 くりりんセンター 2階 研修室

主な協議内容

- ・ 処理方式選定にあたっての基本条件の整理
- ・ 検討対象とする処理方式の整理
- ・ 評価項目の整理(処理方式・建設候補地・環境保全目標)
- ・ プラントメーカーへの照会事項(処理方式)の整理 他